

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(中学生職場体験、鮎喰川クリーンアップ、粉石けん)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- ・ご協力者名簿／編集後記

「咄嗟の言葉」

杉浦 良

「Bさん、お父さんが亡くなって大変だったね・・・寂しくなった？」

「・・・わかりません・・・」

「でもお父さんがやってくれたこと、自分でやらんといかんようになった？」

「・・・そうです・・・」

「買い物も行ってらして・・・立派なもんや！でも一人でやらんといかんから・・・寂しい時もある？」「・・・はい・・・」

表情が硬くなりうつむくBさんです。

「・・・お父さんのこと、嫌だった？」「・・・はい・・・」

「でも最近はどうでもなかったじゃないの？うるさいこと言わんようになったし・・・」

「・・・はい・・・」

「ところで小学校の時と中学校の時だったら、どっちが良かった？」「・・・中学校」

「中学校の時と訓練校の時だったら？」「・・・訓練校」

「小学校の時は良くイジメられた？」「・・・そうです」

「中学校の時もイジメられた？」「・・・そうです」

「訓練校の時も？」「・・・はい・・・」



毎日の昼食の味噌汁作り  
生活トレーニングの一環として、いろいろなメンバーが挑戦してくれています。お客様から頂いたお野菜もたくさん使わせて頂いています。



イジメられたことの情動が記憶を塗り潰します。それでも小学校が一番辛かったと、Bさんは語ります。歳を取るにつれて、辛かった気持ちのウエイトが下がっていったのでしょうか。職業訓練校を終え一般就労についてBさんですが、仕事のスピードについて行けず挫折しました。次の居場所が決まらずウロウロするうちに、夜昼逆転の生活が始まりました。昼過ぎに目を覚まし、炊飯器にあるご飯を丼に入れ、お父さんが買って来たカップラーメンにお湯を注ぎます。お父さんは仕事に出かけているので、家で一人テレビを見ている時間が増えました。夕方お父さんが帰ってくる頃、自転車で近くの本屋や家電量販店に出かけます。立ち読みで時間をつぶし、疲れると家電量販店のマッサージチェアに座り、目をつぶって至福を感じることで自分を支えます。家に戻るのは夜10時を過ぎる頃、すでにお父さんは床に入っています。お父さんが買って来たスーパーの総菜を電子レンジで温め、残ったご飯を丼に移し、テレビのスイッチを入れます。外が白む頃、床に就く生活が続きました。

「おんどれ！いい加減にさらせ！わしが汗水たらして働いとるのに・・・何をさらしとんじゃ！働かんか！」

今までかばってくれた母が急死し、父1人息子1人となったことは、父にも子にも試練です。ある日誰かに言われたのか、突然ここを訪ねて来ました。

「給料はなんぼでしょうか？」

「Bさんがどんなことが出来るかとか、作業のスピードとかも判らないので、スタートは時給100円から。色々やれるようになったり、作業もテキパキできるようになったり、毎日休まず時間通り来れるようになったり、ある作業を任せられるようになったりすると、ミーティングで時給は上がるけど・・・一番沢山もらっている人は766円。でも色々頼まれたり、レジもやったり、注意もされるし大変だよ・・・。しかしその日作業するのがしんどくて、たとえば、横になっていても100円は貰える。沢山お金が欲しいので大変な作業もする、お金は少なくてもいいけどボチボチやる、その真ん中もあるけど。ただ続けんとあかんので、マッチングが必要・・・」

そんなスタートでした。Bさんの凄いところは、休まないことです。ただ、自転車の錆落としをお願いすると、同じところばかり磨いて、そのうち寝てしまいます。そんな訳で、なかなか時給も上がりません。

「少ないのはあかん！少ないのはあかん！給料少ないのはあかん！」

突然、声を張り上げ目を吊り上げて走り回るBさんがいました。

「Bさんどうしたん？まあここに座ってよ。ひょっとして、お父さんに何か言われた？給料が少ないとか？」そんな声掛けに、少し我を取り戻すBさんです。

「・・・お父さんも、お母さんが突然亡くなって不安なんよ。今度はお父さんがもし亡くなったら、TさんやNさんのように生活棟で暮らしたい？」

咄嗟にそんな言葉をBさんに投げかけました。

「・・・今の所におりたいです・・・」「だったら、お父さんにちゃんと言いな！それと、いつもの親戚の叔母ちゃんに頼みな！」

しばらくして、咄嗟の言葉が当たるように、お父さんがこの世を去りました。

「お前、そんなこと思っと思ったんか・・・判った・・・」

そうBさんに語ったお父さんの眼差しが、少しだけ優しくなりました。

(これは日々の活動のイメージを文章化したものです)

# お知らせ

## 連絡協議会総会

6月1日（土）午後1時から県総合福祉センターにて、県内の作業所・事業所で作る作業所連絡協議会の第23回総会が行われました。総会前の研修会では各作業所・事業所からの実践報告が行われました。障害者地域共同作業所ほのぼの屋（徳島市）の斎藤さん、地域活動支援センターたんぼぼ作業所（阿南市）矢和田さん、就労継続B型事業所アトリエひまわり（吉野川市）佐藤さんからの発表です。

15年間（2003年7月準備会発足）頑張ってきた徳島市問屋町の「ほのぼの屋」が、今年3月いっぱい活動を休止する発表に、皆さん注目でした。当事者自ら所長を務めた無認可作業所「ほのぼの屋」。障害者福祉のエリアに規制緩和の名のもとに入り込んだ波。その波に流されるように消えることとなった作業所に、得体の知れぬやるせなさを感じます。

羽ノ浦町にあるたんぼぼ作業所は、1995年に鈴木久子さんが建物を寄贈したことで成り立った作業所です。お母さんパートをやり繰りしながらも、メンバー達からエネルギーを貰いながら運営されておられます。

アトリエひまわりは就労継続B型事業所となり、運営基盤

としては楽になったが、精神障がいのメンバーが中心のため、毎日確実に来られるメンバーが少ないことや作業のモチベーションがあがりにくいこと、無認可作業所からのメンバー達の高齢化などを指摘されました。

手弁当で持ち出すことが当たり前だった県作業所連絡協議会。いつしか流れが変わり、自分たちの作業所・事業所が最優先になりました。それは当たり前のことではありますがそれでは地域の福祉の御旗を降ろすことにならないか?! そうも感じる今日この頃です。

## 中学生職場体験

6月4日、午前10時から午後3時まで、入田中学校3年生5名の皆様が職場体験実習に来て下さいました。

作業の手順をひとつひとつ、様々なハンディを持ったメンバーが中学生の皆さんに説明し、一緒に作業をしていきます。

このような時、職員はなるべく口を挟まず、出番も少なく、が太陽と緑の会のスタイルです。

トラックに乗って段ボールを古紙業者さんまで搬入にも行き、元気でにぎやかな中学生の皆さんも楽しんで頂けたようでした。

蒸し暑い中、お疲れさまでした。



## テンプラ廃油から作った 粉石けん

しばらく在庫切れの状態が続いていた、テンプラ廃油から作ったマルダイ粉石けんの販売を再開しました。

「いつになったら買えるの?」とお待ち下さっていたお客様、申し訳ございませんでした。

市民の皆様から回収させて頂いたテンプラ廃油（廃食油）は、平成3年7月より琵琶湖のほとりにあるマルダイ石鹸にて粉石けんにして頂き、それを徳島で販売する、という形でリサイクルしていました。1000リットル（ポリタンク約56本）のテンプラ廃油を2トントラックに積んで滋賀県大津市まで運び、粉石けん500袋（3キロ入り 1.5トン）を積んで帰る、ということをして、5回に渡り行ってきました。

平成19年度より、徳島でBDF事業が始まり、軽油を消費して滋賀まで往復するよりは徳島で完結させる方が環境負荷の面でも望ましいことから、テンプラ廃油はBDFへのリサイクルにシフトすることにしました。

平成22年8月に粉石けんの在庫がなくなり、販売を終了する予定でしたが、販売の継続を希望される固定ファンのお客様が少なからずおられたことから、粉石けんを郵送する形で仕入れ、皆様に販売させて頂く、というスタイルで新たなスタートをきりました。

今回、仕入れ価格や輸送コストが上昇し、販売を継続すべきかどうか、悩ましいところではありましたが、引き続き販売を行うことにしました。在庫は100袋のみですので、お早めどうぞ。

## 鮎喰川クリーンアップ

第18回ごみゼロの日キャンペーン活動として、鮎喰川河川敷のクリーンアップを行いました。

平成31年4月21日（刈払機に燃料を入れた回数2回）26日（同2回）令和元年5月12日（同2回）19日（同2回）6月2日（同3回）の5日間、エンジン付き刈払機（チップソーとナイロンワイヤー）2台で草刈りとゴミ拾いを行いました。

## その他

徳島新聞5月10日付朝刊の「阿波つれづれ譚」にて当会杉浦の文章を掲載して頂きました。

県内の各分野で活動されている方々によるリレー形式の連載です。

## 定休日について

水曜日、第2第4火曜日、及び祝日を定休日とさせて頂いております。

7月3日(水) 9日(火) 10日(水) 15日(月・祝日)

7月16日(火) (振替休み) 17日(水) 23日(火) 24日(水)

7月30日(火) (振替休み) 31日(水)



イラスト 久米君

# 太陽と緑の会からの助成(49回)

太陽と緑の会福祉事業団からの助成  
徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金  
(古紙1キロに対し5円、鉄屑、空き缶1キロに対し6円、ウエス1キロに対し10円、廃食油1キロに対して20円)平成30年度前期分(平成29年度後期配分)21万4500円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

## ①障害者福祉活動への助成

徳島県精神障害者家族会連合会(統合失調症、うつ病、躁うつ病などの精神疾患をもつ人を身内にかかえる家族が集まり、同じ悩みを語り合い、互いに支え合う家族会のネットワーク)5000円

NPO法人 creer(万代ふ頭の倉庫を屋台村に にぎわいづくりと障がい者の働く場の創出事業)3000円(ハートフルゆめ基金とくしま)

NPO法人 聴覚・ろう重複障害者生活支援センター(地域活動支援センターの運営など)(徳島市)5000円

## ②社会福祉活動への助成

徳島市社会福祉協議会5000円

徳島いのちの希望(社会福祉法人徳島県自殺予防協会)(電話による相談活動)5000円

大阪釜ヶ崎喜望の家(野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動)5000円

## ③国際協力活動への助成

モヨチルドレンセンターを支える会(ケニアにおけるストリート・チルドレンの支援活動)5万円

ペシャワール会(アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画)1万円

認定NPO法人 日本チェルノブイリ連帯基金(チェルノブイリ原子力発電所事故被災者への医療支援)5000円

公益財団法人 徳島県国際交流協会1万円

## ⑤その他の活動への助成

「ハートフルゆめ基金とくしま」を育成する基金5000円

NPO法人はばたき(未来を担う子供たちが健やかに育ち夢を追い求めることができるように自立を援助する事業)3000円

(以上、ハートフルゆめ基金とくしま)

NPO法人 徳島県ボランティア協議会(ボランティア活動の普及を推進する活動)5000円

NPO法人日本NPOセンター(NPOの社会的基盤の強化を図る活動)1万円

## ⑥災害支援

西日本豪雨災害義援金(日本赤十字社徳島支部)8万8340円

支援金振込手数料160円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、25年間で累計1526万5276円の助成を行ってきました。

# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2019年3月1日～2019年6月24日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

西谷、生田、八木、匿名、柳川、匿名(郵便振替口座)匿名、三代田、松尾、武田、杉浦

## 品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○三角、田原、杉本、松下、澤口、領家、楠、岩見、別所、笹田、松田、堀淵、福永、浦川、大野、出口、真鍋、川人、李保、藤本、大野、安崎、畑田、陰本、滝川、杉浦、亀井、浜田、美馬、モリ、阿部、岩田、竹内、尾澤、杉本、中島、小倉、津田、市之瀬、小川、後東、伊沢、林、寺岡、片山、桂、林、坂東、庄野、矢立、久米、明野、田中、石本、佐野、小倉、隅田、古川、前川、川淵、松下、美馬、河野、西條、楠本、竹本、郡、長浜、松本、東條、飯田、埴淵、真鍋、谷村、吉岡、赤木、金地、滝原、椎野、迫村、藤岡、岡山、平尾、尾方、美濃、三宅、山本、鎌田、美間、長谷川、野口、西、中尾、秋田、立穴、原田、川端、木川、石本、井貝、内田、庄野、山田、真中、吉富、庄野、田中、モリ、松浦、長尾、富岡、鎌田、藪原、弘田、竹内、大木、相根、若林、武岡、杉野、瀧本、福田、石本、川城、竹内、大柳、後藤、杉浦、松崎、尾関、木村、正木、荒川、武市、松浦、佐藤、渡川、はり、向井、丸山、庄野、笹田、伊藤、柏原、森、長野、堀、多田、福永、真鍋、久米、大西、工藤、杉本、柳川○阿南市○原、上原、石川、保田、板東○藍住町○山子、和田、宮原、福本、美馬、脇坂、加藤○牟岐町○ごとう、坂本○北島町○橋田、リンゼイ、井上、矢部○上板町○安永、吉田、笠井、広瀬○石井町○上野、矢野、井上、久次米、遠藤、筒井、岩朝、中野、井内、山口、松浦○佐那河内村○伊藤○勝浦町○大久保○阿波市○住友、鳴川、福田、平木、大倉、岩田、藤江、高島○小松島市○小川、森内、坂本、中川、庵本、藪内○松茂町○溝淵○吉野川市○住友、ナカニシ、中野、藤田、高橋、上岡○板野町○長尾、山田、信田○鳴門市○疋田、高田、宇治、坂島、東、織田、後藤○その他○馬場○広島県○福澤○群馬県○山本○福岡県○永峰○埼玉県○亀倉○京都府○井上、木村○神奈川県○谷○東京都○白矢、小林、三浦○愛知県○松浦

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

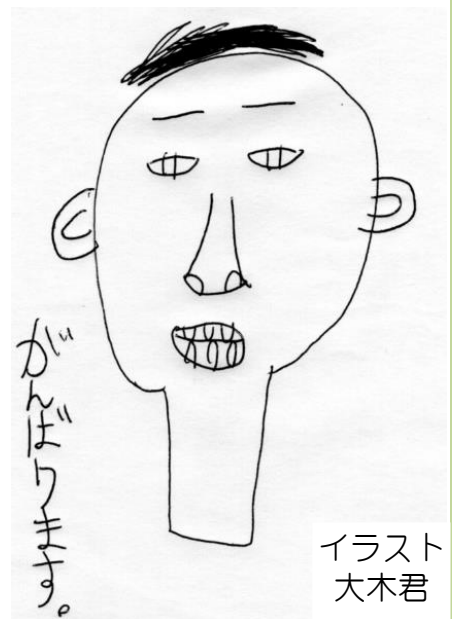
○徳島市○佐渡、竹内、土橋、鶏飼、住田、のぞむ歯科、総合ビルメンテナンス、辻、篠原、垂髪、金沢、谷村、盛、井上、般若院(宮崎)、梅本、川野、沖洲ホットチャペル、堀、佐藤、前田、岩谷、川崎、岡、中西、佐藤、山本、岩田、天野、久米川歯科、渡部、川端、多田、浜崎、生田、伊藤、堀、岡田、榎本、日下、土肥、戸村、勝浦、河村、株式会社トリート、篠原、田中、渡辺、小田、樋口、出口、真鍋、天野、大北、武市、岡本、ピンク美容院、中山、下塚、小川、細井、藤岡、後藤、中西、継岡、土肥、西條、宮井、林、横山、佐野、西谷、阿部、鎌田、住吉、大西、溝杭、堀、田村、畑田、森、井内、栗原、梶野、福永、三笠、若草幼稚園、河野、大櫛、小川、菊池、山口、村賀、坂東、豊栄建設、アンベリール、近藤、梶谷、宮越、豊田、吉野、浜井、住友、繁崎、岡本、元木、島尾、三岡、清水、三木、高原、結城、増田、平井、英光、矢本、工藤、谷口、土橋、脇、川口、宇治製菓、野口、佐川、米田、吉田、喜多、宮本、谷本、吉富、椎野、田村、川上、道脇、細井、米本、井筒、河村、新居、日浦、岡田、富本、藤田、宮越、小倉、美馬、藪内、秋山、山本、沖野、岸岡、林、神原、福田、増田、竹岡、鈴木、森、竹原、三宅、多田、原田、井若、湯浅、川野、戎、一ノ瀬、幸田、梶野、山下、佐倉、八田、村上、新居、中谷、ホテルサンルート原、小寺、生田、坂東、やどり、渡部、元山、河野、阿部、撫養、宮田、中野、中西、内藤、松原、雲財、近藤、西岡、豊田、藤田、松下、藤本、亀川、美馬、三好、佐藤、郡、是安、大江、佐川、三宅、森出、小川、松崎、吉田、中尾、西原、網木、西宮、増田、宇治製菓、泉、田中、工藤、福良、武市、福元、デグチ、十河、阿部、原田、岡、柳川、小林、富永、北内、川人、澤野、柏原、大櫛、杉崎、こまどり、藤山、八木、

広岡、山本、谷本、遠藤、蔵本、大隅、北村、武岡、武市、福田、楠本、山口、江原、三木、矢本、野中、竹原、佐野、梶野、田村、乾、水井、高口、小山、正木、竹村、久米川、元山、松浦、渡辺、柏木、和泉、西川、梅椿、黒地、大栗、森崎、増田、岡久、中西、東部県土整備局道路管理課、三木、近清、西岡、前川、佐々木、長野、中央女性子供相談センター 三宅、中村、岡本、平山、青木、米本、田尾、寺西、多田、大松、三宅、川崎、熊谷、林、井上、斎藤、岩瀬、田中、福島、ほうき○藍住町○赤石、吉川、尾崎、近藤、長袋、佐藤、岡本、川又、はた、井筒、大石、阿部、渡辺、新田○北島町○ハートフル川内、宮崎、梯、八島、坂東、宮崎、阿波銀行北島支店○鳴門市○吉成、水野、須藤、辻、久龍、三井、山本、西條、野尻、岩田、長谷川、岡林○石井町○友成、板尾、植田、阿部、三木○板野町○阿部、上田、黒川、上田、佐々木○小松島市○久国、川人、高木○吉野川市○下川、岡田、早見○上板町○小川○松茂町○上西

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。  
品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

新じゃが、新タマネギ、ナス、サツマイモ、甘夏、鹿肉など、旬のお野菜や果物を差し入れて下さった皆様、ありがとうございます。ジュース、お菓子などを下さった皆様もありがとうございます。経済的に厳しい家庭のメンバーも多く、食材などのご寄付は本当に有難いです。

メッセージを添えてお品物を郵送して下さった皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



### 編集後記～生活していくということ

知的ハンディを持つAさんはある就労継続支援B型の施設に通いながらアパートで一人暮らしをしています。

2か月に1回、約16万円の障害基礎年金を受給していますが、年金支給日の2週間くらい前から、毎日カップラーメンでしのいでいるようで、体調も崩しがちです。

「お金がない。お金貸して」が口癖のAさんを見て、同じく知的ハンディを持つBさんが疑問に思います。

「何であんなに早くお金がなしになるんやろ？ 私はちゃんとお金が残るのに。無駄使いばかりしとるんちゃうか」

Bさんも、2か月に1回13万円の障害基礎年金を受給し、それに作業所でもらう月2万円の給料を合わせて一人暮らしをしています。

「食べ物買うだけで、年金がなしになると言うところぞ。使いすぎじゃ。私はそんなに使わんぞ。何でそんなに使うんや」

ほとぼるBさんの言葉で、事務所が埋め尽くされていきます。

実はAさん、料理がほとんどできません。炊飯器でご飯を炊いたり、みそ汁を作ったり、といったこともできません。

そのため、朝昼晩の食事は、近所のスーパーで買ってくることになります。

弁当（もしくはお惣菜数点と白ご飯）、ペットボトルのジュース、それにたこ焼きなどのちょっとしたものが加わり、それらをスーパーで買うと1回平均1000円くらい。それを朝昼晩と買うので1日3000円。1か月30日で9万円になる計算です。お金の計算が苦手な、ちょっとでも安いものを買う、特売の日やタイムセール、値引きなどを活用する、といったこともできません。

1回1回の食事の内容を聞く限り、決してそんなにぜいたくをしているようには思えません。ただ、すべてスーパーで買って来ると、このくらいかかることになります。

アパートの家賃や水光熱費の支払いのために必要なお金にまで手をつけるようになると、電気やガスが止められたり、家賃滞納で退去を迫られたり、といった事態も想定されます。

Aさんにとって今一番必要なことは、料理ができるようになること、それもまずは、炊飯器でご飯をたく、そうめんや卵などを茹でる、袋ラーメンを茹でて野菜を刻んでのせる、水出し用の麦茶パックで麦茶を作る、みそ汁を作る、といった基本的なことから少しずつ始めることかもしれません。

「就労支援」「工賃倍増」といったことが強調される昨今ですが、お金を稼ぐことと同じくらい、あるいはそれ以上に、どう生活していくか、お金をどう使うか、ということが大切なのではないかと思う、今日この頃です。（文責：小山）

（当会の日々日常をつなぎ合わせたイメージです）

## NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

## 発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1  
TEL・FAX 088-642-1054  
代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎  
ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田  
ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー 堀  
製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1万円 （総会議決権）

準会員 1,000円 （機関誌発送のみ）

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会